

(3)	進路支援	目 標	進路指導 ・生徒が自らの在り方生き方を考え、能力や資質を伸ばし、個に応じた進路選択ができるように指導する。
		重点3①② 計 画	<u>3年間を見通したキャリア教育計画を策定し、各学年で重点的に取り組む内容を明確にして取り組む。</u> 第1学年では自分を知り目標を持ち、第2学年では自己の理解を深め、目標を具体化し、第3学年では希望進路の具体的な情報収集とその達成に向けて学力の向上に努める。 ・生徒自身が情報を収集し、将来の進路について考えるように啓発する。 ・ <u>総合的な探究の時間・HR・面接等を通して進路意識の高揚を図り、生徒が自分に適した目標を早期に決定し、その達成のために継続的に努力していくように指導する。</u>
(4)	特別活動	目 標	①特別活動指導 ・望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた人格の陶冶を目指す。 ・生徒の個性を伸ばさせるとともに、集団の一員としての自覚を高め、協力してより良い学校生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。 ・地域行事においては、積極的な参加を計画し、コミュニケーション能力の向上と豊かな人間性の涵養を目的とし、自らの生き方に自信を持ち社会に貢献できる生徒の育成を目指す。併せて、「地域に愛される魅力ある学校」づくりを推進する。 ② 読書指導 ・読書を通じて、生徒が思索を深め、心豊かで主体的に行動実践できる能力を育てる。
		重点4① 重点4② 計 画	① <u>生徒会活動・部活動の活性化を目指し、生徒の自発的・民主的な企画運営を基本に、個性の伸長と自主的・協力的な態度の育成を図る。</u> ・学校行事では、目標を明確にするとともに、生徒の満足度が高くなるように、教師と生徒が相談して企画運営に努める。 ・ホームルーム活動では、生徒が学校生活に適応し、より良い人間関係を形成するよう学年が協力して実施する。また、生徒が自主性を発揮し、一人ひとりが積極的に参加できるように、事前準備や運営等に責任を持たせる等の指導の工夫を行う。 ・地域行事やボランティア活動では、その活動の意義を明らかにして生徒の参加を奨励し、学校全体で積極的・組織的に推進する。 ②読書習慣の定着化を推進し、朝読書を実施する。 ・調べ学習や資料作成をサポートするための図書購入希望調査を実施し、蔵書を充実させる。また、生徒が積極的に活用できるように図書館運営を工夫する。 ・ <u>生徒図書委員会の活動を活発にし、広報活動や図書室講座を充実させる。</u>
(5)	その他	目 標	① P T Aの行事や研修会等への参加率の増加 ・コロナ禍において、近年、学校行事など規模の縮小化に伴い、P T A活動も簡略化されてきた。保護者は、学校での教育活動を直に触れることなく3年間を過ごす方が目立っている。教員、保護者、生徒との連携を深めることが、教育活動を進めるためにも不可欠となっている。 ② H Pの改善 ・ネットワーク環境を高めることで、保護者や地域の方々に理解を深めることや、また海外の友好校と交流を活性化させるために効果的に情報の発信を行うことが必要となってきた。特にHPを通して、本校への関心を高める情報提供を行うことができるようにする。
		計 画	① 学校行事や各種研修会への参加を促し、学校教育に関心を高める。 ・HPやメールなどを利用し、早期に案内をする。 ・行事や授業参観、特別活動など幅広く公開できる機会を増やす。 ・P T Aが参加できる企画を行う。 ② H Pの見やすさと早期発信に努める。 ・HPの掲載を多くの教員が取り扱うことができるようにする。